

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)~(8)は必ず記入してください。(9)~(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	首都圏-1	(2) 記載者氏名:	遠山元信	会員番号:	12378	事務局整理記入欄	地理クラブ-4
分水嶺区分	E321甲子峠-E322甲子山	(3) 山行日:	2004年	9月	12日	(4) 天候:	晴れ

(5) 参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

西村智磨子	11955	鶴田泰子	11963	なし				
上田昌子	13426	近藤善則	12489					
片野スミ子	13346	遠山元信	12378					
川村トシ子	13347							
計			7名		計			0名

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:													
アプローチ:													
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)~(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	甲子峠	甲子山	139	58	39	37	11	48	1,395		08:50		
分水嶺到達点E321	同上											A-1	
分水嶺一時的離別点		甲子山	139	58	20	37	11	30	1,385	09:45	10:00	A-1	
E322(分水嶺からは離別)	甲子山	甲子山	139	58	10	37	11	14	1,549	11:00	12:30	B-3	
	甲子山甲子峠分岐	甲子山	139	58	29	37	11	7	1,410	12:40	12:45	A-1	
分水嶺へ戻る		甲子山	139	58	20	37	11	30	1,385	13:00	13:05	A-1	
歩行終了点E321	甲子峠	甲子山	139	58	39	37	11	48	1,395	13:25		A-1	
総歩行時間(休憩時間を除く):												3時間00分	

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを記入 してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
なし					

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

甲子山山頂に営林署の主図根点の標石あり。ただし痛み激しい。 (写真参照)

(9) 水および植生に関連した特記事項

なし

(10) その他の特記事項

甲子峠にあった林道の看板によれば、峠は福島県下郷町大字南倉沢字塚峠というのが正式名称。 となると甲子峠とは登山関係によって地元呼称を無視した勝手な採用による名称の可能性があり、調査の上で甲子峠が地元呼称でない場合は登山関係によって修正すべきではないだろうか。国土地理院の地名採用基準は地元市町村役場に提出を求める地名調書からの採用であるため、地元市町村役場によって地名調書の対応がまちまちであり、登山関係の地図から採用する例もあると言われているため、地形図に採用されているからと漠然と地名を採用すると大きな誤りを発生させることがある。

(11) 写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: 甲子山山頂での参加者全員の記念撮影。 甲子山山頂にあった主図根標石。

山行報告書(続き)

表面(1ページ目)に書ききれなかった事項を記入してください。

甲子峠へは福島県下郷町側からの入山となる。福島県西郷村側からは車両通行止めのため入山できない。  
甲子峠から甲子山側へ歩き出し二つのピークを越えた先から一般ルートは分水嶺から外れ甲子山北東斜面の中腹を巻いて甲子温泉から登って来る道と合流するが、この中腹斜面を巻く部分、スズ竹が伐採されていたが、もし伐採を中止するとこのルートは通過が難しくなる。注意が必要だろう。また、峠から歩き出し中腹斜面を巻きだす手前から分水嶺上は藪となる。部分的に多少は藪が薄くなるが、ほぼ前進するのが難しくなるほどの藪で標高差150mの藪に一時間を要した。



甲子山山頂での参加者全員の記念撮影



甲子山山頂にあった主図根標石